

取扱説明書

[施工説明付・保証書付]

保管用

カネカOLEDベースライト Gentle 6

(屋内専用・業務用)

TK0630AL TK0640AL TK0634AL

Kaneka

お客様へ

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよく読み、正しく安全にお使いください。保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、本説明書とともに大切に保管してください。器具の施工（電気的接続）には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店に依頼してください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全に使用していただくため、施工及びご使用前にこの説明書を必ずお読みください。

・必ずお守りいただくことを下記の表示で説明しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをした場合、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをした場合、人が傷害を負うまたは物的損害のおそれがある内容を示しています。



禁止



分解禁止



水濡れ禁止



必ず守る

仕様

(※1) 指定電源ユニット使用時

品番	光色	周波数	定格電圧 AC100V時	定格電圧 AC200V時	定格電圧 AC242V時
TK0630AL	電球色相当: 3000K	50/60 Hz	消費電力: 15.0W (※1)	消費電力: 15.9W (※1)	消費電力: 16.0W (※1)
TK0640AL	白 色相当: 4000K		入力電流: 0.15A (※1)	入力電流: 0.12A (※1)	入力電流: 0.11A (※1)
TK0634AL	電球色/白色混合: 3000Kおよび4000K交互配置				

器具 カネカOLED ベースライト Gentle 6

電源ユニットについて

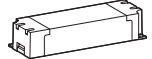
・当社別売の電源ユニットをご準備ください。

指定電源ユニット (当社別売)

指定電源ユニット:

(株) Luci製 RC-LPW40-450D

・ねじ固定する場合は
別途取付ねじ (φ3.8: 2本)
をご用意ください。

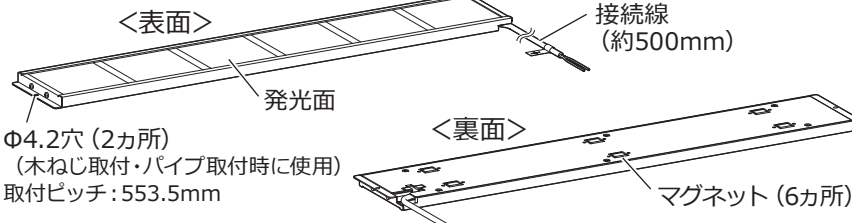


指定電源ユニット以外のものを使用された場合、
短寿命・故障の原因となることがあります。
また、本製品の保証の対象外となります。

調光制御する場合

- ・別売 (※2) の調光器をご準備ください。
- ・調光器は、指定電源ユニットに適合するものをご準備ください。詳細は、指定電源ユニットの取扱説明書をご確認ください。
- ・調光器との接続は、調光器の説明書または仕様書をご確認の上、正しく接続してください。

(※2) 当社では取り扱っておりません。



φ4.2穴 (2カ所)
(木ねじ取付・パイプ取付時に使用)
取付ピッチ: 553.5mm

接続線
(約500mm)

＜裏面＞

マグネット (6カ所)

付属品 パイプ取付金具 (2セット)
(適合パイプ: φ28)



【マグネット取付の場合】

器具裏面のマグネットでスチール製の場所に取り付けてください。

【木ねじ取付の場合】

別途木ねじ (φ3.8×20mm以上: 2本) をご用意ください。

【パイプ取付の場合】

付属のパイプ取付金具を使用してください。

・器具の取付について詳細は3ページ「器具の使用方法」をご参照ください。

施工説明

安全上のご注意

施工説明に記載されていない方法で施工されたことにより生じた事故や損害は、当社では責任を負いません。また、その施工が原因で生じた故障は製品保証の対象外となります。



警告



必ず指定電源ユニットと組み合わせて使用する。
守らないと火災・感電の原因となります。



調光させる場合は必ず指定電源ユニットに適合する
調光器と組み合わせて使用する。
守らないと火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧・周波数で使用する。指定外の電源
電圧・周波数で使用する、火災・感電の原因となります。



施工は電源を切り、施工説明に従って確実に行う。
施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。



器具を改造したり構成部品の交換をしない。
落下・感電・火災の原因となります。



接続線・電源線・調光信号線の接続は確実に行う。
不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。



配線する際など電線に張力をかけない。
断線による感電、火災のおそれがあります。



AC200V・AC242Vで使用する場合は、電源ユニット
の線押さえ部に電源線の外被がくるようにする。
守らないと感電の原因となります。



注意



下記のような場所には設置しない。



・直射日光の当たる場所
・雨水のかかる場所
・湿気が多い場所
・腐食性ガスの発生する場所
・振動や衝撃の多い場所
・粉塵の多い場所

火災・感電・落下の原因となります。



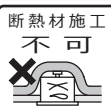
周囲温度が5～35℃の場所に設置する。
ちらつきや短寿命の原因となります。

指定電源ユニットの取付方法

⚠ 指定電源ユニットに添付されている取扱説明書の内容も必ずご確認ください。

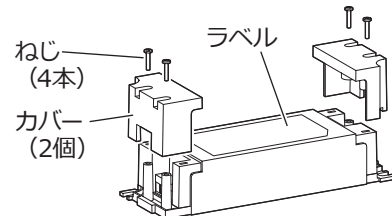


指定電源ユニットは断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。火災の原因となります。住宅の断熱施工天井には使用できません。



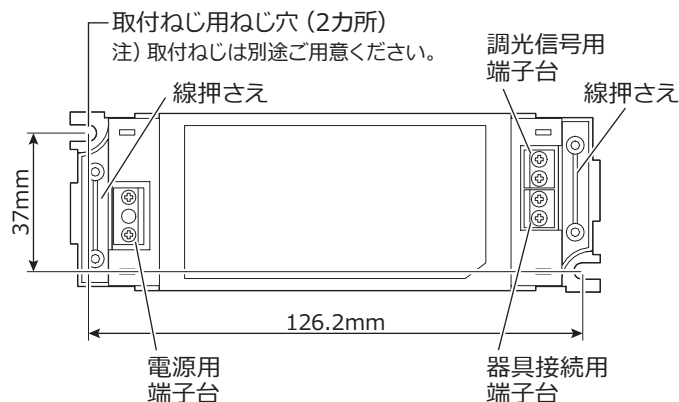
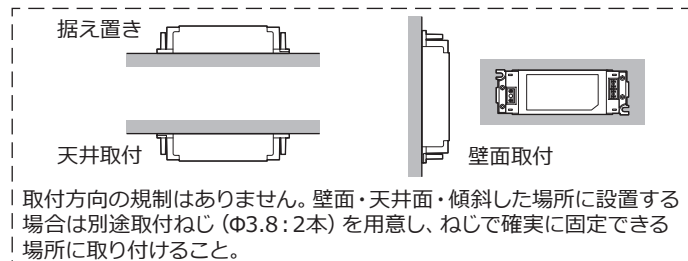
指定電源ユニットを壁面・天井面・傾斜した場所に設置する場合は木ねじで確実に固定する。守らないと落下の原因となります。

電源ユニット



1 電源ユニットの準備をする

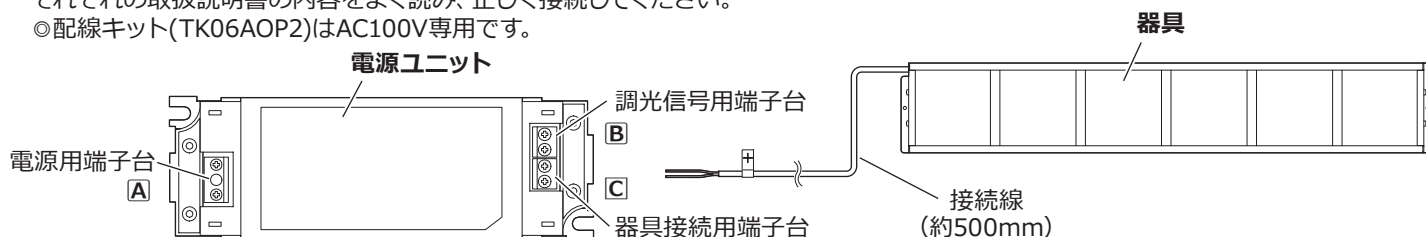
- ・ねじ (4本) を外し、カバー (2個) を外す。(カバー2個は同形状です。)
- ・電源ユニットの質量 (155g) に十分耐えられる場所に設置する。



2 電源線・調光信号線・器具の接続線を接続する

- ・電源線、調光信号線または器具の接続線の接続に別売の配線キット(TK06AOP2)および延長コード(TA06AOP3)を使用する場合は、それぞれの取扱説明書の内容をよく読み、正しく接続してください。

◎配線キット(TK06AOP2)はAC100V専用です。

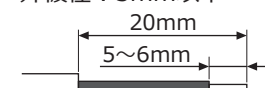


A 電源用端子台

- ・適合電線 (別売 ※2)

AC100Vの場合

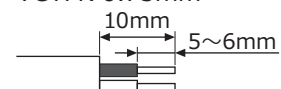
単線 : 0.5~1.25mm²
より線 : 0.5~1.25mm²
外被径 : 3mm以下



- ① プラスドライバー等で解除ねじをゆるめる。
- ② 電源線の先端を電源用端子台に確実に差し込む。(極性を合わせる事。)
- ③ プラスドライバー等で解除ねじを締め付ける。

AC200V・AC242Vの場合

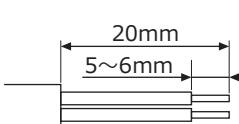
VCTFK 0.75mm²



B 調光信号用端子台

- ・適合電線 (別売 ※2)

単線 : 0.5~1.25mm²
より線 : 0.5~1.25mm²



- ① プラスドライバー等で解除ねじをゆるめる。
 - ② 調光信号線の先端を調光信号用端子台に確実に差し込む。(極性はありません。)
 - ③ プラスドライバー等で解除ねじを締め付ける。
- ※調光信号線については調光器の説明書または仕様書をご確認ください。

C 器具接続用端子台

- ・適合電線 (別売 ※2)

単線 : 0.5~1.25mm²
より線 : 0.5~1.25mm²



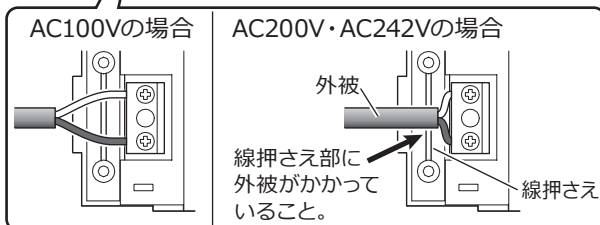
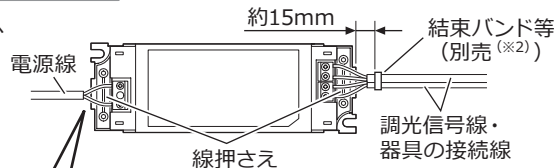
- ① プラスドライバー等で解除ねじをゆるめる。
- ② 器具の接続線の先端を器具接続用端子台に確実に差し込む。(極性を合わせる事。)
- ③ プラスドライバー等で解除ねじを締め付ける。

(※2) 当社では取り扱っておりません。

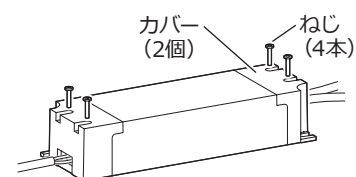
3 電源ユニットにカバーを取り付ける

- ① 電源線、調光信号線・器具の接続線が、線押さえの上を通っていることを確認する。

- ・調光信号線と器具の接続線を結束バンド等 (別売 ※2) で束ねると、カバーとの接触が減らせます。



- ② ねじ (4本) でカバー (2個) を取り付ける。(カバー2個は同形状です。)



取扱説明

安全上のご注意

取扱説明に記載されている内容に従わないことにより生じた事故や損害は、当社では責任を負いません。また、その使用方法が原因で生じた故障は製品保証の対象外となります。

警告



使用中異常を感じた場合は速やかに電源を切り、販売店・工事店に連絡する。
そのまま使い続けると感電・火災の原因となります。



器具を改造したり構成部品の交換をしない。
落下・感電・火災の原因となります。



器具の接続線を破損するようなことはしない。



- ・傷つける
- ・加工する
- ・切断する
- ・引っ張る
- ・ねじる
- ・束ねる
- ・熱器具に近づける
- ・無理に曲げる
- ・重いものを乗せる

断線による感電、ショート、火災のおそれがあります。

注意



器具に水を掛けたり器具を水洗いしない。
この器具は非防水です。火災・感電の原因となります。



器具に殺虫剤を掛けたり、シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かない。
変色、変質、強度低下による破損の原因となります。



器具に直射日光が当たる状態で点灯させない。
温度上昇による器具の短寿命や一時的な明るさ低下・不点灯の原因となることがあります。



器具に振動や衝撃を与えたり、必要以上に器具に応力を加えない。
器具破損による火災、感電・不点灯の原因となることがあります。



器具の近くにストーブなど温度の高いものを置かない。
火災や器具の故障の原因となります。



お手入れの際は電源を切る。
感電の原因となることがあります。



器具の取り外しは販売店、工事店に依頼する。
電線の接続解除には資格が必要です。



1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検を行う。
点検せずに長時間使い続けるとまれに感電・火災に至る場合があります。
○照明器具には寿命があります。設置後通常のご使用(※1)で8~10年後には外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。(※1: 通常の使用とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。)

マグネット使用製品の安全上のご注意

器具の裏面にはマグネットを使用しています。

警告



心臓ペースメーカーなど、体内植込型電子機器を装着している方は、一定の距離をとって使用する。
体内植込型電子機器の誤動作を誘発する可能性があります。
詳細は、体内植込型電子機器の説明書や医師へご確認ください。



外れたマグネットは放置せず、管理する。
マグネットを誤って飲み込んでしまった場合、取り出しができませんと、開腹手術となる可能性があります。

注意



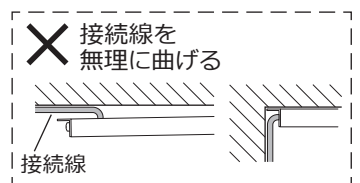
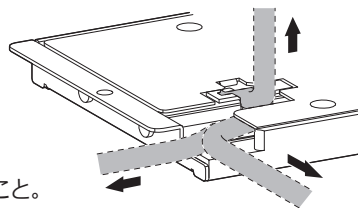
携帯電話、パソコン、時計、キャッシュカードなどの磁気カード、磁気テープ等、磁気に影響されるものを近づけない。
記憶内容の破壊や故障の原因になります。



マグネット同士が付かないようにする。
器具のマグネットは強い力で引き合いますので、外れなくなる可能性があります。

器具の使用方法

- 器具の質量(950g)に十分耐えられる場所に設置してください。設置場所は取付方法により異なります。
- 接続線は3方向に引き出せます。
 - 器具の金属部分で接続線を傷つけないよう注意すること。
 - 器具取付時、接続線に無理な力が加わらないようにして取り付けること。



マグネット取付

・スチール製の場所にマグネットで取り付けることができます。

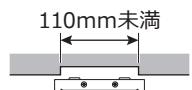
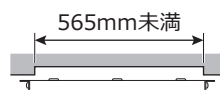


- 平面部が565mm×110mm以上の水平天井面または水平面を使用する。**
守らないと落下の原因となります。
- 器具裏面と取付面の間にスキマがないようにして取り付ける。**
スキマがあると落下の原因となります。
- 長期使用の場合は木ねじ取付やパイプ取付で器具を固定して使用する。**
地震など予期せぬ事象で落下するおそれがあります。

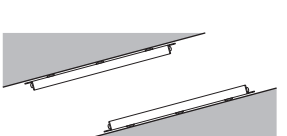
・器具裏面の金属部分で設置面を傷付けることがあります。傷が付しやすい場所では使用しないでください。器具を移動させるときは器具を設置面から外してから移動させてください。



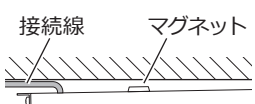
平面部が565mm×110mm未満の場所



壁面や傾斜した場所



器具裏面と取付面の間にスキマがある



木ねじ取付

- ・別途木ねじ(Φ3.8×20mm以上:2本)をご用意ください。
- ・取付方向の規制はありません。
木ねじで確実に固定できる場所に取り付けること。



補強のない薄い場所

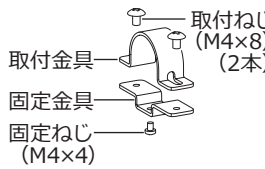


パイプ取付

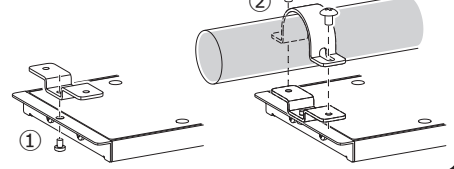
- ・付属のパイプ取付金具を使用し、φ28のパイプに取り付けできます。
- ・取付方向の規制はありません。
- ・パイプ取付用金具は確実に固定すること。
- ・固定金具には方向性があります。器具から飛び出さないようにして取り付けてください。



<パイプ取付金具>



- ① 固定ねじで器具に固定金具を取り付ける。
- ② 取付ねじと取付金具で、パイプに器具を固定する。



使用上のご注意

- ・設置環境によっては、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入る場合があります。その場合は機器から距離を離してお使いください。
- ・器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。
- ・調光器と組み合わせて使用する場合、調光器の特定の設定位置でちらつく場合があります。ちらつかない位置でご使用ください。

お手入れについて

- ・お手入れは、電源を切り、器具全体が冷めてから行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- ・シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤は使用しないでください。
- ・光源は交換することはできません。

故障かな?と思ったら

症状	処置
調光を最大にしても暗く感じる（調光器接続の場合）、または、照明の色が変わった ●本器具には有機EL照明パネルを用いています。有機EL照明パネルは一般的なLEDと同様、使用期間が長くなると徐々に輝度が低下します。また、発光色が変わることがあります。特に以下の使用環境では輝度の低下、発光色の変化が起こりやすくなります。 ・周囲温度の高い場所 ・湿度の高い場所 ・紫外線の当たる場所 ●有機EL照明パネルの個体差により上記変化にはばらつきが生じます。	→指定電源側面の調光ボリューム回転部の位置が右図に示す向きになっているかご確認ください。向きが異なる場合は、右図の位置に合わせてください。（多少左右にずれていても問題ありません） →明るさが低下した場合や色のばらつきが大きくなったときは、お買い換えをご検討ください。
電源を入れても点灯しない、調光器を操作しても明るさが変わらない（調光器接続の場合）	→指定電源ユニット「RC-LPW40-450D」を接続しているかご確認ください。それでも症状がある場合は、使用を中止し、販売店、工事店へご連絡の上、点検をお願いいたします。
有機EL照明発光部に黒点（発光しないエリア）が発生した ●黒点は有機EL照明の使用期間が長くなった場合に生じる変化の1つです。そのままご使用を続けても、問題ありません。	→黒点が大きくなり気になる場合はお買い換えをご検討ください。

安全チェックシート

<1年に1回は下記項目の点検を行ってください>

・電源をONにしても時々点灯しないときがある。
・器具や電線を動かすと点滅する。
・器具や電線が異常に熱い。
・器具からごげくさい臭いがする。
・点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。
・器具や電線に傷みやひび割れ、変形がある。
上記項目に該当する場合危険な状態になっていますのですぐに使用を中止してください。上記項目以外でも気になる点があれば販売店・工事店にご相談ください。

保証書

当社は、お求めいただいた カネカOLEDベースライト Gentle 6 およびその付属品（以下「本製品」といいます）について、以下のとおり製品保証いたします。

【保証内容】

取扱説明書の記載にしたがった正常な施工方法、ご使用状態で、以下に示す保証期間内に本製品が故障した場合に限り、保証規定にしたがって無料で本製品を交換いたします。本書を添えて販売店までご依頼ください。販売店が不明な場合は、お問い合わせ先へご連絡ください。

【保証期間】

本書に記載のお買い上げ年月日から1年間。ただし、24時間連続点灯など一日20時間以上点灯させて使用する場合は、保証期間は買い上げ年月日から半年となります。

【保証規定】

- 本製品は、改良のため、事前の通知なく仕様が変更される場合がありますので、保証期間内でも、同等品との交換により対応する場合があります。
- 保証対象となる本製品とは、カネカOLEDベースライト Gentle 6 および付属しているパイプ取付金具であり、本製品と組み合わせて使用する電源ユニットや調光器等は保証対象ではありません。
- 施工上の瑕疵、欠陥や施工作業の拙劣、本製品以外の工事材料の不良等、施工に起因する本製品の故障に関しては、当社は一切のその責任を負いません。
- 修理対象品に貼り付けられたシール等の装飾品などにつきましては、当社では一切の責任を負いかねます。必要な装飾品類は取り外した後に修理をご依頼ください。

お買い上げ年月日	保証期間
* 年 月 日	お買い上げ日より 1 年間
* 販売店	

*印欄への記入と販売店印のない場合は無効となります。なお、お買い上げ日または納品日、および、販売店が確認できる領収書、請求書または納品書を、*印欄への記入の代わりとして扱うことができます。領収書、請求書または納品書は本保証書と一緒に大切に保管してください。

アフターサービス

- 本製品の保証期間は、保証書に記載しています。
- 本製品の保証の詳細、使い方、お手入れなどのアフターサービスについては、販売店へお問い合わせください。販売店がわからない場合は、右に示すお問い合わせ先へお問い合わせください。
- 本製品は、修理対応製品ではありません。保証期間経過後に故障したときは、お買い換えをお願いいたします。

【お問い合わせ先】

カネカOLEDコールセンター
フリーダイヤル 0120-887-224
営業時間 10時～18時（土日、祝日、当社休業日を除く）

株式会社 **カネカ**

OLED事業開発プロジェクト

〒107-6028 東京都港区赤坂 1-12-32（アーク森ビル）

URL: <https://www.kanekaoled.jp>

カネカOLEDベースライト Gentle 6

取扱説明書

Document No. OBL-4700-001/003

2024年11月 第3版

Printed in Japan